

て之が會費は五十名ほどあるのでありませう。それから神戸の聯合會のうらで——神戸に一つも労働組合がないことになって居りました。神戸の労働組合が出来、今度新たに高砂の争議、後九百六十名、會費が出来たのであります。斯の如く非常に隆盛にたつて、あるのがある。それから大井から(長山)には労働組合の争議が二回あり、して其の争議が非常に有利に解決され、した。大井は只今、五五五名の争費が以前より増加して居るのであります。

徳島には只今迄は徳島労働組合が出来て居りませう。それから大井以後、徳島労働組合が出来、又もう一つ徳島労働組合の支部が徳島市内に出来たのであります。それから大井から土佐の方は製紙業の労働者が、伊予労働組合と云ふものを組織して居りませう。

大井の方面は其後非常に圧迫があったのであります。色が違つた結果、此頃では非常に隆盛に向つて、あるのであります。それから大井の聯合會内で先程隊名を止めた。餘部聯合會、労働聯合會と云ふものを組織致しまして、只今總同盟に加入して居るのであります。それから労働組合の中で同一護護工支部が脱退いたしました。そして護護工労働組合と云ふものを組織して居りませう。それから中央委員が金を使ひ、この方面に一つ小水をしてしまひ、して新たに護護工支部を組織して労働組合に加入して居るのであります。其他の方面も此頃、隆盛になりまして、會費が幾つ、あるのであります。今年、春の大井争議の数が全部で二十八件、争議人員六百四十人、犠牲者が十三人あるのであります。それから、